

「井原デニム条例（案）」についてのご意見に対する井原市議会の回答

No.	条項	ご意見	井原市議会の考え方など
1	第1条	市内の販売店でジーンズを販売しているお店が少なく高額です。 新たな商品開発と言うが、昔からの色の布地を使っている以上、小手先の小物では無理があると思う。 まず、県北の商店街のように各お店が暖簾（井原ならジーンズ布）でもして、PRしてほしい。	織物業者の方々から、長い歴史の中で絶えず商品開発を続けてきた成果が現状であり、今後も継続が必要だと伺いました。そこで、条例では井原デニムを事業者の技術の蓄積とたゆまぬ努力の結晶、また、時代に即した商品開発を続けてきた賜物であると表現しています。商品単体ではなく、これまでの歴史や努力、地域性までも慈しみたいと思いますので、ご提案いただいた暖簾などは素晴らしいアイデアであると承らせていただきます。
	第2条（1）	身に着ける事は強制的すぎます。	第2条全般を通して「次に掲げる事項の推進に努めるものとする」としており、強制を意図するものではありません。
	第2条（4）	井原でしか生まれない価値とは？	いただいたご意見をもとに、第2条（4）の「井原でしか生まれない価値」を「井原でしか生まれないデニムの価値」へ変更いたします。 地域団体商標に登録されている「井原デニム」地域ブランドは、地域が誇る共有財産と位置付けられております。一つの企業だけで事業を推進するのではなく、関連団体が連携して「井原デニム」地域ブランドを育てることで、地域の共有財産としての価値を高めていくこととしており、条例においても、「井原デニム」を井原が誇る地域の共有財産としての価値と位置付けております。
		魅力ある商品を開発しインターネットで販売してほしい。井原市は高齢者が使えるような、また機織りの技術は素晴らしいと思うので新しい井原でしかできない布地を開発してほしい。	貴重なご意見として承らせていただきます。
2	第1条	・デニムを愛用するためには、高価なものだけでなく、安価なものも井原デニムとして売ってほしい。井原の町の店（衣料店）どこでも買えるように。 ・デニムの魅力って何でしょう？ (私としては作業着、井原デニムは高い作業服のイメージ)	価格を含めたモノの価値であると認識しておりますが、商品の流通や適正価格は関係事業者によって決まるものであり、条例においては、価格にこだわることなく、手掛けられた工夫や商品開発の歴史、生産の手間などすべてを含めて評価をしたいと考えております。 井原デニムの特徴ともいえる商品としてセルビッチデニムがあります。また、同じ染料を使用しても必ずしも同じ色が出ないことや、綿素材ならではの色落ちや糸切れなどを風合い、味といった表現で楽しめることも特徴であり、魅力でもあると考えます。 また、最近は、スーツや和服にも使用できる素材の開発も行われています。
	第2条（4）	井原でしか生まれない価値とは何ですか。 井原の歴史というとデニムだけですか。織物一般ではないのですね。	いただいたご意見をもとに、第2条（4）の「井原でしか生まれない価値」を「井原でしか生まれないデニムの価値」へ変更いたします。 地域団体商標に登録されている「井原デニム」地域ブランドは、地域が誇る共有財産と位置付けられております。一つの企業だけで事業を推進するのではなく、関連団体が連携して「井原デニム」地域ブランドを育てることで、地域の共有財産としての価値を高めていくこととしており、条例においても、「井原デニム」を井原が誇る地域の共有財産としての価値と位置付けております。 井原は古くから織物業がさかんであり、条例ではその代表として「井原デニム」を取り上げていますが、地域団体商標の認定基準によると、昔ながらのシャトル織機で織るセルビッチデニムをはじめ、ジャガードなどの柄物、草木染などの染料にこだわったもの、シルクやレーヨン、機能的な合成繊維との組み合わせによるものなど、井原市内で織布したものとなっております。
		・井原駅→バスセンターをもっとデニム通りらしく 井原駅→バスセンターと新町は距離が長すぎる。 つなげることはできるのだろうか。	貴重なご意見として承らせていただきます。
		・井原駅を井原デニム駅と改称してはどうか。	貴重なご意見として承らせていただきます。
		条例ができるとこの役割に対して市から助成金がつくのですか。いくらぐらい？	現状では、予算を伴うことは想定していません。